

これからの稲作は 大船に乗って いこう



ルーチン® エキスパート 箱粒剤

は種時から移植当日まで、
箱でいつでも使えて、
主要病害虫を一括防除。

- 紋枯病防除剤
「エバーゴル® (有効成分:ベンフルフェン)」配合
- いもち病防除の定番
「ルーチン® (有効成分:インチアニル)」でイネ自身に抵抗力をつける
- 「アドマイヤー®」と「スピノサド」で幅広い害虫に有効



慣行播種
箱当り
50g

高密度播種
箱当り: 50~100g
(1kg/10aまで)



いもち病



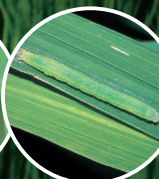
紋枯病



イネミズアムシ



イネドコロイムシ



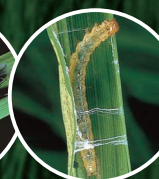
フタオビヒョウガ



ウシカ類
(セジロシカ)



ツマグロヨコバイ



ヨブクマイガ



イネツトムシ

製品情報の
詳細は
こちらから



は種時から移植当日まで、箱でいつでも使えて、主要病害虫を一括防除。

ルーチン® エキスパート 箱粒剤

農林水産省登録 第23634号

- 成分: イミダクロプリド … 2.0% 殺虫剤分類 4A
- スピノサド … 1.0% 殺虫剤分類 5
- インチアニル … 2.0% 殺菌剤分類 P3
- ペンフルフェン … 2.0% 殺菌剤分類 7
- 性 状: 類白色細粒
- 毒 性: 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

ルーチン® エキスパート 箱粒剤の特長

- 紋枯病防除剤「エバーゴル®」と、いもち病防除の定番「ルーチン®」配合
- いもち病、紋枯病、イネミズゾウムシ、ニカメイチュウ等のチョウ目害虫を一括防除
- は種時から移植当日まで使用可能
- 浸透性・移行性に優れ、長い残効性
- 高密度播種の場合、50~100g/箱で処理可能

※ただし、10a当りの処理量は最大1kg/10aです。

適用病害虫および使用方法

2021年10月現在の登録内容

| 作物名 | 適用病害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 使用回数* | 使用方法 |
|------------|--|--|-----------------------|---|----------------------------|
| 稲 (箱育苗) | イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ ウンカ類、ツマグロヨコバイ コブノメイガ、フタオビコヤガ ニカメイチュウ、イネツトムシ いもち病、紋枯病 白葉枯病 | 育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g | は種時(覆土前) ~ 移植当日 | 本剤: 1回 イミダクロプリド: 3回 (移植時までの処理は1回、 本田での散布は2回) | 育苗箱の 上から 均一に 散布する |
| | 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 穂枯れ(ごま葉枯病菌)、内穎褐変病 | 高密度には種する 場合は1kg/10a (育苗箱(30×60× 3 cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~100g) | 移植3日前 ~ 移植当日 | スピノサド: 1回 インチアニル: 3回 (移植時までの処理は1回、 本田では2回) | |
| | もみ枯細菌病 | 育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g | 移植当日 | ペンフルフェン: 1回 | |

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾糞として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整して下さい。
- 極端な低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意して下さい。
- 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種時の処理により薬害が生じるおそれがあるので、この時期での使用をさせて下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさせて下さい。

- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないよう注意して下さい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。
- 移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

★播種同時施肥機や田植同時施肥機で使用する場合は、農機販売会社に本剤の使用に関して確認をして下さい。また、散布量の調整を実施したうえで使用して下さい。

- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00,13:00~17:00
土日祝日および会社休日を除く

F-2109 21.10.NY